

ヌサドゥア・ビーチ
 シガラヤ国際空港からも近いヌサドゥア地区は、
 インドネシア政府主導で開発されたリゾートエリア
 です。

世界の地域から

バリ島（インドネシア共和国バリ州）



タナロット寺院に沈む夕日
 バリ南西部のタナロット寺院は美しい夕日を
 観賞できる人気スポットです。

バリ島はインドネシア共和国の政治・経済の中心地であるジャワ島の東に位置する有名観光地です。世界中の観光客を魅了し続ける要素のひとつとして、インドネシアで唯一ヒンドゥー教（バリ・ヒンドゥー）を信仰するバリ人独特の世界観に基づいた絵画や伝統芸能などに代表される質の高い芸術が挙げられます。

東京都の約2.6倍の面積（5,633km²）に390万の人々が暮らすバリ島は8つの県から成り立っています。南部リゾートエリアが観光客でにぎわいを見せる一方で、少しそのエリアを離れるとのどかな漁村や農村が広がっており、そこに暮らすバリ人の温かなホスピタリティに触れることができます。

日本の自治体では、1993年に島根県邑智郡美郷町がギャニャール県ウブド郡マス村と姉妹提携を結んでいます。

＝ CLAIRメルマガ読者募集中！ ＝

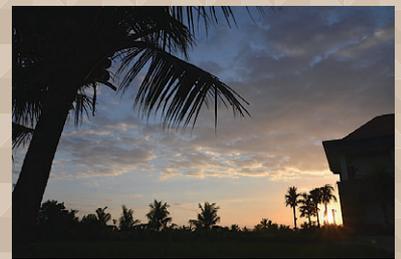
観光、物産、交通、IT、環境など海外お役立ち情報満載のメールマガジンを好評配信中
 右の二次元バーコード、または“CLAIRメルマガ”で検索、登録をお願いします





芸能の村ウブド

煌びやかな衣装を着た踊り子によるバリ舞踊や迫力あるケチャ・ダンスなどに代表される伝統芸能が息づくバリ中部の村・ウブド。毎晩、様々な歌舞団が寺院や村の集会場で公演を行っています。



穏やかなバリの風情を残す町・サヌール

南部の町サヌールは、1920年代に欧米の芸術家が好んで滞在した古くからのリゾート地です。昔ながらの家々が残る通りには、かつて小さな漁村だったこの地区ならではの風情が今も残っています。



バリ島の世界遺産

2012年、「バリ・ヒンドゥー教の哲学を元に独自の水利システム・スパックによって維持される水田地域の文化的景観」が世界遺産に認定されました。認定された5つの地区のひとつ、バドゥン県メングウィに位置するタマン・アユン寺院はバリで一番美しいと賞賛される信仰の場です。